

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	神岡（４期）
-----	---------------------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	7, 9 4 3, 9 4 8 千円	
年 効 用	②	3 8 1, 4 6 3 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	5 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	0. 0 4 5 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	8, 3 4 7, 1 1 2 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 5	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	品質向上効果	1 1, 7 8 0	農道の舗装により生産物運搬の際の損傷を軽減することによって生産物の品質が向上する効果
	維持管理費節減効果	△5, 0 3 7	農道新設による維持管理費の増対象施設：農道
営農経費の節減	営農に係る走行経費節減効果	2 6 1, 7 6 3	農道整備による輸送、通作の走行時間短縮による経費の節減 対象作物：水稻、野菜類、果物、畜産物
	一般交通等経費節減効果	1 0 9, 4 0 6	農道整備による一般交通等の走行時間短縮による経費の節減
地域の生活環境の保全・向上	迂回路確保効果	3, 5 5 1	災害等により幹線道路が通行不能となった場合に本農道を迂回路利用した時の走行経費の節減
	計	3 8 1, 4 6 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	下呂中央(2期)
-----	---------------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4, 7 3 1, 3 7 4 千円	
年 効 用	②	2 8 6, 2 8 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 4 8 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	5, 8 6 6, 4 7 5 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	△4, 2 1 0	農道新設による維持管理費の増 対象施設：農道
	営農に係る走行経費節減効果	2 6 7, 0 8 5	農道整備による輸送、通作の走行時間短縮による経費の節減 対象作物：水稻、野菜類、果物、畜産物
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 4	廃用道路を直接改良することで機能が継続して発現する効果
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 7, 9 5 7	農道整備による一般交通等の走行時間短縮による経費の節減
	迂回路確保効果	4, 1 1 7	災害等により幹線道路が通行不能となった場合に本農道を迂回路利用した時の走行経費の節減
	安全性向上効果	1, 2 4 1	安全施設整備による車輦走行時の安全性向上 対象施設：防護柵
計		2 8 6, 2 8 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	島根県	地区名	和田（3期）
-----	---------------------	-------	-----	-----	--------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,391,261 千円	
当該事業による費用	②	5,927,483 千円	
その他費用	③	463,778 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	62 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	7,068,678 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.10	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
維持管理費節減効果	△318 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道
営農に係る走行経費節減効果	190,641 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象作物：水稻、キャベツ、だいこん、たまねぎ
一般交通等経費節減効果	72,470 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通に係る走行経費が増減する効果 対象施設：農道
計	262,793 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	大麻西(2期)
-----	---------------------	-------	-----	-----	---------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,204,822 千円	
当該事業による費用	②	1,211,638 千円	
その他費用	③	-6,816 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	57 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	1,346,319 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.12	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
維持管理費節減効果	△965 千円	農道施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果	43,323 千円	農道施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農に係る走行経費が増減する効果 対象作物：水稻、かんしょ、れんこん、きゅうり、梨、だいこん、はくさい
一般交通等経費節減効果	34,453 千円	農道施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通の走行経費が増減する効果
計	76,811 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	谷尾崎（２期）
-----	---------------------	-------	-----	-----	---------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	2, 0 6 6, 7 2 6 千円	
当該事業による費用	②	1, 6 7 2, 1 6 5 千円	
その他費用	③	3 9 4, 5 6 1 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	6 7 年	当該事業の工事期間＋4 0 年
総便益額(現在価値化)	⑤	2, 6 6 4, 1 8 8 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1. 2 8	

２．年効果額の総括

項 目	年効果額	効果の内容
営農に係る走行経費節減効果	6 0, 7 8 8 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業車の交通経費が増減する効果 対象作物：みかん、なし
維持管理費節減効果	△ 9 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	1 2, 3 9 4 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般車の交通経費が増減する効果
計	7 3, 1 7 3 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	宇土南部(2期)
-----	---------------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 2 5 6, 4 3 2 千円	
年 効 用	②	1 2 6, 2 3 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 2 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	2, 4 0 4, 4 5 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効果額の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営 農 に 係 る 走行経費節減効果	1 0 4, 7 5 0	農道の新設、改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減 対象作物：水稲、トマト、メロン、みかん、葉たばこ
	維持管理費節減効果	△ 5 6 8	農道の新設、改良に伴う路面補修に要する経費の節減 対象施設：農道
施設更新による 従前の農業生産の維持	更新効果	1 6, 9 0 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減効果	3, 7 4 3	農道の新設、改良に伴う一般交通の走行時間の短縮による労働時間や機械経費の節減
	安全性向上効果	1, 4 0 7	農道の新設、改良に併せて施設整備することにより安全性が向上 対象施設：ガードレール
計		1 2 6, 2 3 4	